

【報告 1】

広報、記念事業について

1 第 70 回全国植樹祭大会イメージソングについて

岡崎市出身でシンガーソングライターの岡村孝子さん（LOVE あいちサポーターズ あいち音楽大使）に、大会イメージソング「と・も・に」を制作いただいた。

平成 30 年 5 月 19 日（土）に愛西市親水公園総合体育館で開催した、第 70 回全国植樹祭 1 年前記念イベントにおいて初披露を行った。

イメージソングは、ユーチューブにアップするとともに、今後開催するカウントダウンボードの除幕式や県内各地で開催されるイベント等でも活用する。



と・も・に

作詞・作曲：岡村孝子
編曲：萩田光雄

- | | |
|---|--|
| <p>1. 緑の森を渡る
そよ吹く風のように
大きな愛を注ごう
変わらぬ愛を注ごう</p> <p>キラキラ輝いてる
小さな言の葉たち
信じるその瞳で
明日を描いていく</p> <p>夢を抱いて 理想を追って
どんな時代（とき）も越えていけ
共に生きて 共に歩く
遠い未来（あす）に届くように</p> | <p>2. 無邪気な顔で笑う
小さな子供たちは
野に咲く花のように
まっすぐ前を向いて</p> <p>転んですりむいても
いつしか歩き出せる
喜びも悲しみも
すべてを受けとめたら</p> <p>希望あふれ 光満ちる
この瞬間 くり返し
共に見つめ 共に信じ
遠い未来（あす）につなげよう</p> <p>夢を抱いて 理想を追って
どんな時代（とき）も越えていけ
共に生きて 共に歩く
遠い未来（あす）に届くように</p> <p>森は未来 陽ざし浴びて
町も人も 息づいて
共に生きて 共に歩く
遠い未来（あす）に届くように</p> |
|---|--|

2 平成30年度の経過について

(1) 第70回全国植樹祭1年前記念イベント

平成30年5月19日（土）に愛西市親水公園総合体育館において開催し、約2,000人を超える参加をいただいた。

岡村孝子さんによる大会イメージソングの初披露を行い、全国植樹祭PRステージを実施するとともに、森と緑づくりや木づかいに関する各種ブースを出展し、親子連れなど多くの方に楽しんでいただいた。

また、苗木のスクールステイを実施していただく、6つの農林水産関係の高校に対し、苗木をお渡しし、育成をお願いした。



(2) 第 69 回全国植樹祭ふくしま 2018 について

平成 30 年 6 月 10 日（日）に福島県南相馬市において第 69 回全国植樹祭ふくしま 2018 が開催された。

式典では、大村知事が全国の都道府県知事を代表して、東日本大震災復興支援のお礼として「桜の苗木」を受領した。

また、次期開催県知事として、内堀福島県知事から全国植樹祭のシンボルである木製地球儀を引き継いだ。



3 今後の広報、記念事業について

(1) 全国植樹祭シンボル「木製地球儀」のリレー展示の実施

開催機運を盛り上げるため、福島県大会において引き継いだ「木製地球儀」を県内全市町村でリレー展示する。

メイン会場である愛知県森林公園の位置する名古屋市をスタートし、県内全市町村をリレー展示し、最後は、尾張旭市にてゴールする。

【木製地球儀の概要】

木製地球儀



富山県における展示状況



高さ：60cm 幅：50cm

重さ：14.7kg

○木製地球儀の来歴等

「木製地球儀」は、21世紀最初の全国植樹祭が開催された「第52回全国植樹祭やまなし2001」の際に、新たな歴史を築いていく象徴として作成されたもので、全国植樹祭のシンボルとして開催県に代々引き継がれている。

21世紀は地球環境の時代であり、森林・林業がさらに重要な役割を担うというイメージを「木製の地球」で表現し、それを国民・企業・行政の3者の手で支えていく姿を「3枚の葉」で表現している。

(2) 第70回全国植樹祭カウントダウンボード除幕式の実施

平成30年8月上旬頃に予定されている開催日の決定を受け、8月下旬に名古屋駅のナナちゃん人形前において、カウントダウンボードの除幕式を行う。

カウントダウンボードは県立瀬戸窯業高校の協力のもと作成し、名古屋市内に3ヵ所（JR名古屋駅・名鉄名古屋駅・県庁）、豊橋市内に1ヵ所（豊橋市役所）設置予定。

(3) 第70回全国植樹祭PRイベントの実施

平成30年8月上旬頃に予定されている開催日の決定を受け、9月15日（土）から開始する、県民の皆様への招待者募集にあわせ、同日、栄のオアシス21において、PRイベントを実施する。

(4) あいち“言の葉”キャラバンの実施

29年度に引き続き、キャラバン隊により、県内市町村で開催するイベントに出向いて植樹祭開催をPRするとともに、県民の皆様から未来の森林への想いや木づかいに対するメッセージを集める。今後、30市町村で実施予定。

(5) 苗木のスクールステイの実施

29年度に引き続き、尾張旭市内小中学校12校及び名古屋市守山区志段味地区の小学校4校、県内のみどりの少年団69団により、大会で使用する苗木の育成を行う。

(6) 地域植樹イベントの実施

県内2地域において、植樹イベントを実施する。

(7) 地球未来こども塾の実施（共催 中日新聞社）

木材利用をメインテーマとして、次世代を担う子供たちを対象としたワークショップを3回開催する。

4 協賛申込状況（平成30年6月15日現在）

区分	資金	物品	その他
金額	53,276,800円	-	-
件数	246件	13件	4件
主な内容	-	<ul style="list-style-type: none">・木製椅子・苗木・間伐材チップ・お茶（ペットボトル等）・ういろう・記念品	<ul style="list-style-type: none">・車両貸与・広告掲示・苗木やベンチの運搬

※平成30年3月31日時点の入金額は38,161,800円